

キャラクター名	プレイヤー名
由利 鱗之助 (ゆり りんのすけ)	

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	ホテルのオーナー
オプション		年齢	アラサー	性別	男
覚醒	無知	衝動	破壊	初期侵食率	36 %
出自	貧乏	経験	長期入院	邂逅	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転： 船	2		芸術：			知識：			情報： UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ドラゴンパンチ	白兵	5r+1	1	13		コスト4、C値7。《破壊の爪》後の《コンセントレイト》+《獣の力》
タイダルウェイブ	白兵	10r+1	1	13		コスト4、C値7。《完全獣化》後の「ドラゴンパンチ」
トレンジャル・トリビュート	白兵	10r+1	1	28		コスト8、C値7。「タイダルウェイブ」+《フルパワーアタック》

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
応急手当キット					
コネ：UGN幹部					
コネ：警察官					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
野獣本能(ビーストハート)	P	N			
赤蠟燭島	P 幸福感	N 侮蔑			
ローザ・バスカヴィル	P 感服	N 恐怖			
友人	P 友情	N 悔悟			
雨宮 魅音 あまみや みおん	P 庇護	N 不安			
人魚	P 同情	N 恐怖			
黒板 透真 くるひつぎ とうま	P 信頼	N 悔悟			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：キュマイラ	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-LV(下限7)							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	このシーンの間、素手を武器化。白兵、攻撃力+[LV+8]							
竜鱗	3	3	リアクション	至近	自身	自動	-	
効果：	装甲値を+[LV×10]							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	このシーンの間【肉体】を使用した判定を+[LV+2]							
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	全力行動を行った後、白兵攻撃。							
フルパワーアタック	3	4	セットアップ	自身	自身	自動	80↑	
効果：	白兵攻撃力+[LV×5]。行動値が0になる。							
獣の力	2	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果：	白兵攻撃力+[LV×2]							
海の恩恵	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	水中ペナルティを受けない							
至上の毛並み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	《完全獣化》の時の姿が非常に美しい							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

HO2、UGN赤蠟燭島支部長。温和で寛容な性格。ただし、よくないと思った事にはよくないとはっきり意見を示す。この性格は両親の教育の賜物であり、そのことに関しても両親に感謝しているが、この年でいい相手が見つからず、当分孫の顔が見せられそうにないことを少し気にしている。また、支部が移転することに納得がいかない。それは、原因の解明が出来ていないということもあるが、何より彼自身がこの島での生活を気に入っており、離れたくないからである。彼の悩みは、《完全獣化》をすると鱗で服に傷がつくこと。基本的に腕を強化することになるので、特に長袖の服は着たくない。

黒板透真(くるひつぎ とうま)(NPC)は支部のカヴァーとなっているホテルの従業員でありUGNの協力者であり、非オーヴァード。彼はバーを主に担当しているが、人手が足りていないのでたいていの雑用は彼がやっている。コードネームBGというエージェントもこの支部に所属している。彼女はオーヴァード。やる気がない。なんせ仕事がないのだから。鱗之助としては、エージェントとしての仕事がないならば別の仕事を頑張ってもらいな、と思っているが、しかたがないと半分あきらめている。

鱗之助の来歴
彼は海沿いの小さな町で生まれた。しかし、彼の姿は海沿い生まれと言うにはあまりにもふさわしく、人間の姿としてはあまりにもふさわしくないものだった。彼は先天性魚鱗癬という病をもっていたのだ。その病とは、全身の皮膚が乾燥して鱗のようにめくれ上がるという遺伝子が原因の根本療法のない難病である。彼の両親は初めは悲しんだものの、この鱗も天が彼に与えたものとして、「鱗(うるこ)之(これ)を助く」という名前をつけた。病と闘いながらの生活は簡単ではなく、治療費に大変なお金がかかるため、裕福な生活は送れなかった。それでも家族三人で支えあって幸せに暮らしていた。しかし、悲しくも鱗之助の生活は過酷なものであった。病気を持っている彼が普通の子と同じことが出来るわけもなく、小学校に入学してからは辛いことが数多くあった。病人であるという特別扱いは、普通でありたい彼にとって疎外感を感じさせるもの以外の何物でもなかった。ただ、そんな彼にも親友と呼べる存在が来た。沖田という少年は彼のことを対等に扱ったのだ。それは些細な事であったが、彼にとってはそれで充分だったのである。以後、沖田は現在に至るまで親友であり続ける。

親友のおかげで困難な日常を乗り越えていた彼にある日事件が起こる。きっかけは子供同士の些細な喧嘩だった。クラスメイトとの帰り道、何でもないことで言い争いになったのだ。その中でそのクラスメイトは鱗之助に対してこう言い放ったのだ。「魚は海に帰れよ」。その一言は彼をひどく傷つけた。そこで彼は初め